

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育
事業所名	栗東市立治田保育園
代表者氏名（管理者）	園長 太田 久美代
法人名	栗東市
定員（利用人数）	150名（133名）
施設・事業所所在地	栗東市坊袋162
T E L	077-552-1079
F A X	077-551-0418
電子メール	yoji@city.ritto.lg.jp
ホームページアドレス	http://www.city.ritto.lg.jp

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク滋賀福祉調査センター
評価実施期間	平成30年9月10日、12日の両日

3、 評価の概要

○ 総合評価

国道1号線から近く、交通の便も良く、市のほぼ中央に位置する栗東市立の保育園である。園周辺には小学校（学童保育所）・幼稚園・児童館、コミュニティセンターの公共施設があり、地域の子育て・保育・教育に互いに取組む中で毎月の会議の開催をすることによる連携も大切にしている。

園の周辺では宅地や道路開発が進み、身近にあった畑や農地が徐々に減少してきていることから、日常の中で自然に接する機会を園内に取り込む実践を積極的に展開している。園内に畑を作り、野菜やさつまいも・じゃがいもを育てたり、様々な空間を利用したりしながら、鉢植えの草花の栽培・配置によっても自然の営みに触れられるような工夫がみられる。

散歩時にみつけた小動物や虫を持ち帰り飼育したり、自宅からも持ってきてくれる昆虫などの世話をしたりする体験を通して居心地のよい環境やえさの与え方など工夫していく中で、小さな虫たちにも命があることに気づかせ、命の大切さについて話し合う機会を持ちながら、育ててきた小動物たちを自然に返すこと等について気づかせ、短時間で自然に返している。

市内の幼稚園、幼児園などとのローテーションによる多様な経験を積むことで保育士双方の資質の向上に繋がり、それを保育に活かしている。

○ 特に評価の高い点

1. 以上児と未満児がペアを組んで、異年齢児とのふれあいが見られる合同の体操が毎朝9時過ぎに実施される。園児が笑顔いっぱいいきいきと体操に取り組んでいる姿から思いやり等が育まれるひとつの方法でもあり、微笑ましい雰囲気を感じた。
2. 園内研修で職員の共通認識を深める取組みとして、年度始めには保育の中で大切にしていることを全職員が発表し、意見交流のできる研修会を開催している。この研修は他の職員の保育に対する思いやこれからの抱負に接することで、自分の保育に向かう姿勢に刺激を受けたり、自信を持ったり、共通認識を深めたりする機会となっており意義深いものになっている。
また、外部研修に参加した者の研修報告書を充実することで、職員全体の資質向上を図っている。記述の様式については、「研修を受けて学んだこと」「明日からの保育に反映できること」「課題」についての3項目あり、受講保育士が研修内容を整理して伝えやすく、他の職員にとってもわかりやすく興味を持てるものになっている。
3. 看護師が本年度から常勤となり、園児の健康状態の把握やケガや病気などの対応がきめ細やかに日々コンスタンスに実施されるようになったことから保護者の安心感にもつながっている。
4. 保護者アンケートで昨年より大半の項目で肯定率が高くなっている。そのベスト3を上げると以下のとおりである(前年度対比)

1位	保育内容・方針の説明は？	68%→89%
2位	喜んで保育園に行くか？	77%→88%

3位 自然に触れたり地域に関わる園外活動は？ 83%→91%

これは園長はじめ全職員の日常の保育活動が保護者の安心感や満足度を引き上げたことを証明しているものと認められる。

○ 改善を求められる点

1. 早朝、延長保育での連絡事項が引継ぎ簿（連絡簿）に記入されているが、保護者への連絡に際し、保護者から連絡を受けた保育士、保護者に伝達した保育士の氏名や時刻等の記載がない。記録は振り返りの資料として活用される可能性も高く、大切な要素として認識しこれらの記載を試みてほしい。
2. 多くの保護者が不審者対策への不安を持っている（アンケート結果では肯定率47%→36%にダウン）、防犯カメラの設置や対策の具体的説明を続けるなど不安を減らす工夫・検討を通して防犯体制の充実に努めてほしい。
3. 帰りの時間帯が、学童保育の児童の帰宅とも重なって、迎えの車の往来も多い。また園周辺の駐車場までの道沿いの街灯も数が少なく暗いことから事故を未然に防ぐための対応も必要と思われる。
4. 乳児クラスの排泄の着脱時などに廊下からその様子が見えるため、ついたてなど目隠しの設置が求められる。日常生活の対応について、これを機会に人権の視点から全てチェックしてみるよい機会である。
5. 玩具、楽器、遊具が古くて減少しているように見える物もあるので、点検及び追加が必要と思われる。

4、 第三者評価結果に対する事業者のコメント

園評価に対して様々なご意見をいただいた事で、園運営について振り返り、また今後のとりくみについて再検討をするきっかけをいただくことができました。保護者の方々のアンケート結果の中で、「（お子さんは）喜んで保育園に行くか」という項目について高い数値であったことはうれしく、保護者の皆様が園運営にご理解をいただき、お子さんを毎日園に送り出してくださることに大変感謝いたします。園が園児一人一人にとって心身ともに健やかに育つためのふさわしい生活の場であるようこれからも努めていきたいと思えます。パーセンテージの低かった項目、情報提供と防犯体制についてですが、情報提供は、日々成長していくお子さんの様子を保護者の皆様と共に喜びあったり、また成長していく子どもにどうかかわっていくかという子ども理解を共有しあったりするものです。保護者の方々と温かい関係をつくっていくためにも、一方的な伝達だけにならないよう工夫をしていきたいと思えます。防犯体制については、園内外の環境整備や関係機関、地域の方との連携を密にし、対策を講じていきたいと思えます。今回いただいたご意見を真摯に受け止め、職員間で共通理解を図りながら、より良い保育や園運営に努めてまいりたいと思えます。